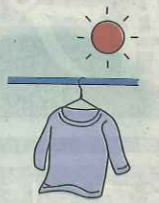


藤野美香さんの1日

- 4:30 起床。飼いネコ「ふく」「金太郎」などにエサをやる。「わが家はネコファースト(優先)」
- 6:20 出勤。20分ほど歩いて最寄りの駅へ
- 7:15 オフィスに一番乗り。メールの返信、出張の報告などを済ませる。「朝の時間は貴重」
- 9:00 始業。書籍などの編集作業や、5力国語対応の医療用翻訳アプリ「MediPass(メディパス)」の営業など
- 12:30 昼食。空き時間でフェイスブックなどをチェック
- 17:45 終業。帰宅途中に買い物
- 18:15 帰宅。まずはネコにエサやり
- 21:00 入浴。テレビや読書などでリラクセス
- 22:30 就寝



保育社 編集チーフディレクター
藤野美香さん(55)



「子供用の英語教材が貧困の連鎖を断つきっかけになれば」

英語教材で貧困連鎖断

出版社「保育社」(川区)で書籍の編集をしています。子供用「ホイッキークー」とおなじみ「(95990)を5月に控え、仕上がっています。

「ホイッキークー」は人でも楽しみながら読めることがコンセプトで絵本をなぞれば

「タク女」力

今週のキーワードは？

かつて、タクシーを利用するといえは遠距離や深夜帰りのサラリーマンなどのイメージも強かったが、最近は昼間に利用する高齢者や妊産婦、塾通いの子供も増えているという。タクシーを呼んで、きりっとした笑顔が魅力の

渡邊さんや、子育て中の「お母さんズマイル」が優しい石河さんに出会ったら、ホッとするにちがいない。そんな「タク女」がさらに増えるよう環境整備を進めてほしい。

(服部素子)

「女性ドライバー応援企業」の認定マークを張った南大阪第一交通のタクシー



「2、3人来てもらえたらというのが当初の予想。それが6人の女性ドライバー誕生につながるとは」と話すのは南大阪第一交通(大阪市西成区)勤務課の赤嶺武宏係長(32)。昨年1月、大阪市内のタクシー会社として初の女性限定「完全固定給・正社員」ドライバーの採用を始めた。ドライバー148人のうち、女性は一般ドライバーとして以前から乗務する1人を含め、20代1人、30代2人、40代2人、50代2人の7人がハンドルを握る。

雇用条件は、週休2日制で固定給は15万5千円から。月給17万円+歩合給」という一般ドライバーより収入は少ないが、日勤のみで夜勤はない。勤務は、子育てなど事情に応じて柔軟に調整もできる。「固定給第1号」として昨年3月に入社した渡邊詩保さん(27)は、午前7時から午後4時の勤務。飲食関係の仕事から転職した。「車の運転が好きだったこともあり、一番の動機はハローワークで固定給・正社員採用という求人票を見たことです」と話す。家族からは「夜勤で、酔っ払いに絡まれたら」と反対されたが、日勤のみの就業時間や、女性車両の位置情報

報を配車司令室などで管理することで不安も解消したという。

1〜14歳の6人の子育て中の石河実華さん(36)は、午前9時〜午後6時の勤務。参観日などで平日に休みを取りたいときは、休日を振り替えることができる。

タクシー乗務には第二種運転免許が必要で、6人のうち入社前に同免許を持っていたのは1人。渡邊さんや石河さんは入社後に取得した。費用は自動車学校(8日間の合宿)と学科試験を会社が全額負担する仕組みだ。女性に配慮した勤務規定を

「」として、現場に戻ってほしいという願いもある。

国土交通省は、女性ドライバーを25年度の6700人から32年度に約1万4千人に増やすことを目標に、「女性ドライバー応援企業」認定制度を創設。雇用目標の設定や環境整備に取り組んでいる企業を後押ししており、今年2月末現在、全国で580事業所が認定され、南大阪第一交通もその一つだ。

速さだけでなく、移動に「優しさ」が求められる高齢社会。女性にとって働きやすい業界は、社会にとっても欠かせない。

WOMEN

街角で手を挙げれば、女性ドライバーのタクシーが停車することも珍しくなくなった。通院や買い物などで高齢者の利用が増えるなか、人あたりもソフトな女性ドライバーのニーズが増えている。男性中心の業界は慢性的な人手不足が続き、国土交通省は平成28年から「女性ドライバー応援企業」認定制度をスタートさせ、就労を支援する。完全固定給で夜勤なし。子育て中のママさんに配慮した会社も登場。「タク女」の広がり期待がかかる。

完全固定給、正社員、日勤のみ



固定給の正社員ドライバーとして勤務する渡邊詩保さん(右)と石河実華さん。専用の車両が1台ずつ与えられている。大阪市西成区

設けた理由について赤嶺係長は、利用者のニーズを挙げ、「午前中のタクシー利用のほとんどは、お年寄りの通院や買い物の送迎。高齢者や女性のお客からは、ソフトな対応の女性ドライバーを指名されることも多い」といい、「タクシー業界は世代交代が滞り、労働力を女性に求める面もある」と説明。全ドライバーの10%を女性にすることを目標にしている。

同社では、子育て中の女性社員のバックアップとして今夏、営業所内に保育所を開設する予定。さらに、ずっと働ける職場にと、女性ドライバーに介護職員初任者研修の資格取得を奨励。出産で一度退職しても、子育てが一段落したら、介護タクシードライバ